

KPAX 利用規約

第1条（本規約の適用）

本規約は、当社が提供する KPAX クラウドサービス（以下「本サービス」）の利用に関する条件を定めるものです。利用者は、本規約に同意した上で本サービスを利用するものとします。利用者がその顧客に KPAX の機能を使ったサービスを提供することも可能ですが、その場合はエンドユーザーと適切な利用規約を設定、締結してください。

本規約は利用者の同意を得ることにより変更することが出来ます。

第2条（定義）

- 「利用者」とは、本サービスを利用する法人または個人をいいます。
- 「エンドユーザー」とは利用者が本サービスの一部を提供する利用者の顧客のことをいいます。
- 「アカウント」とは、利用者が本サービスを利用するために当社が発行する識別情報をいいます。
- 「サブスクリプション」とは、月額または年額で提供される継続利用契約をいいます。
- 「利用者データ」とは、利用者が KPAX を使って収集したデータのことをいいます。

第3条（契約の成立）

利用者が当社所定の方法で申込みを行い、当社が承諾した時点で契約が成立します。

第4条（サービス内容）

- 当社は、別途定める仕様に基づき本サービスを提供します。
- 当社は、必要に応じて本サービスの内容を変更・追加・廃止できるものとします。

第5条（利用料金）

- 利用者は、当社が定める料金を支払うものとします。
- 料金はサブスクリプション期間ごとに自動更新され、更新時に課金されます。請求サイクル等は別途協議の上、個別に決定されます。
- 途中解約の場合でも、当該期間の料金は返金されません。

第6条（アカウント管理）

- 利用者は、アカウント情報を自己の責任で管理するものとします。
- アカウントの不正利用による損害について、当社は責任を負いません。
- 当社は以下のいずれかに該当する場合には、本サービスの全部又は一部の提供を停止できるものとします。（1）本サービスに関わるハードウェア、ソフトウェア、通信機器その他関連する機器若しくはシステムの点検又は保守作業を定期的に又は緊急に行う場合（2）コンピューター若しくは通信回線等の障害、誤操作、過度なアクセスの集中、不正アクセス、ハッキング、その他予期せぬ要因により本サービスの提供が困難となった場合（3）本サービスに関するセキュリティ上の問題が生じた場合（4）天災地

変、戦争、戦争のおそれ、封鎖、通商停止、革命、暴動、伝染病若しくはその他の疫病、物資若しくは施設の破壊若しくは損傷、火災、台風、地震、洪水、その他当社の支配を超える事由により本サービスの提供が困難となった場合 (5) 法令等又はこれらに基づく措置により本サービスの運営が困難となった場合 (6) その他前各号に準じる事由により当社が必要と判断した場合

4. 前項により当社が行ったサービス停止措置によって利用者又はメンバーに損害が生じたとしても、当社は一切の責任を負いません。

第7条 (禁止事項)

利用者は、以下の行為を行ってはなりません。

- 法令または公序良俗に反する行為
- 本サービスの逆コンパイル、リバースエンジニアリング
- 不正アクセス、過度な負荷を与える行為
- 当社または第三者の権利を侵害する行為
- サービスの再販・再配布 (当社が許可した場合を除く)

第8条 (データの取扱い)

1. 利用者データの所有権は利用者に帰属します。
2. 当社は、サービス提供・改善のために必要な範囲でデータを利用できます。
3. 利用者は、収集したデータのバックアップを自己の責任で行うものとします。

第9条 (サービスの停止)

当社は、以下の場合に本サービスの提供を停止できるものとします。

- システム保守時間中
- 天災・障害など不可抗力の場合
- 利用者が本規約に違反した場合
- KPAX 社がサービスの提供が出来ない状態になった場合

第10条 (ホワイトラベル提供)

当社は KPAX 社の合意を得ることを条件に利用者が本サービスを自社ブランドでエンドユーザーに提供できます。管理者設定で変更可能なロゴ部分のみの変更であれば、COSY を通じて KPAX 社へ報告することにより利用できます。ホワイトラベル提供時は当社はエンドユーザーに対して直接サポートを提供する義務を負わず、利用者保守に起因するエンドユーザーとのトラブルについて一切の責任を負いません。

第11条 (保守・サポート)

1. 利用者は、エンドユーザーに対する一次サポート、問い合わせ対応、障害対応、利用方法の説明その他の保守業務 (以下「利用者保守」) を自らの責任と費用負担において行うものとします。
2. 当社は、エンドユーザーに対して直接サポートを提供する義務を負わず、利用者保守に起因するエンドユーザーとのトラブルについて一切の責任を負いません。

3. 利用者は、当社が提供する管理画面、API、マニュアル等を利用し、エンドユーザーへのサポート体制を構築するものとします。また、エンドユーザーに対して利用者保守の範囲及び責任を明確に説明するものとします。

12 条（免責事項）

1. 当社は、本サービスが常時正常に動作することを保証するわけではありません。障害発生時は保守の範囲で対応します。
2. 当社は、利用者に生じた損害について、直接かつ通常の損害に限り、利用期間もしくは、最大過去 12 ヶ月間に利用者が支払った料金を上限として賠償します。
3. 逸失利益・間接損害については責任を負いません。

第 13 条（契約の解除）

利用者が本規約に違反した場合、当社は契約を解除できるものとします。

利用者は更新サイクルの 60 日前通知により解約可能とします。

第 14 条（準拠法・裁判管轄）

本規約は日本法に準拠し、当社所在地を管轄する裁判所を専属的合意管轄とします。

2025 年 12 月 22 日 初回発行